

# なでしこ



茨城県立内原特別支援学校  
地域広報紙 第52号  
平成29年 12月22日発行



今年もいよいよ押し詰まり、学校も2学期が終わり冬休みに入ります。9月以降地域の皆様には、共同避難訓練やうちよう祭等にご協力いただきありがとうございました。

3学期は、地域の方と小学部生との交流会（地域交流）を計画しております。こま回しやぽっくり等、昔の遊びを一緒に行いながら楽しく交流をしたいと思います。3学期もご協力をよろしくお願いします。

## 地域の方々との共同避難訓練 10月18日(水)

地域の方々にもご参加いただき、共同避難訓練を行いました。2次避難所である学校給食会への避難や消火体験を一緒に行いました。お忙しい中ご参加いただき、ありがとうございました。

## うちよう祭 11月11日(土)

今年度のうちよう祭は「かがやけ！みんな！うちよう祭」をテーマのもと行われました。

「うちようステージ」では、本校の小学部低ブロック、中高ブロック、中学部の児童生徒のステージ発表や内原中学校吹奏楽部による演奏が行われました。

「みんなで遊ぼう」のコーナー活動では、小学部がリラックスルームや遊びのコーナー、PTAの方々が大バザー、内原の3地区の地域の方々や内原ライオンズクラブのみなさんにお手伝いをいただき、スーパーポウルすくいやわたあめ、ポップコーンなど、地域のコーナーとして出店しました。

また今回は3つの福祉事業所の方にご参加いただき、製品の販売などご協力をいただきました。中学部の生徒も作業学習で作った野菜や手工芸品を販売しました。

多くの方々にご協力をいただき、「児童生徒一人ひとりが主役！」のうちよう祭を行うことができました。

内原中学校の吹奏楽部のみなさん、地域の方々や内原ライオンズクラブのみなさん、忙しい中ご協力いただきありがとうございました。



## 内原フレンズ 2回目 11月30日(木)

鯉淵小学校、内原小学校、妻里小学校、本校の児童生徒で、今年度2回目の合同学習を行いました。今回は「おもしろ理科先生」を招いて浮沈子作りを行いました。

浮沈子作りがはじめての児童も多かったのですが、理科先生の説明に目を輝かせながら興味をもって取り組みました。浮沈子ができあがると、とてもうれしそうな表情で同じグループの友だち同士で浮沈子を見せ合ったりしながら楽しく活動できました。

